宮崎市SDGｓ対応型施設園芸推進協議会（宮崎県宮崎市）

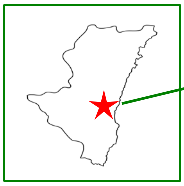
R５補正 R６当初

74

背景・課題

宮崎市の農業は、冬季に温暖で日照時間の長い気候条件を活かし、野菜や果樹、花きの施設園芸を基幹品目とし、早期水稲や畜産を組み合わせた農業経営を軸に発展してきた。特に、施設園芸で栽培する冬春きゅうりは、作付面積及び収穫量が全国１位（令和４年度）と、全国でも有数の産地となっている。

一方で、昨今の燃油等の高騰により、生産者の所得確保が難しくなってきていることから、燃油のみに依存せず、かつ収量・品質確保が可能な施設園芸営農モデル（以下営農モデルという。）を確立する必要がある。



構成員

宮崎市、宮崎県、宮崎大学、施設園芸農家、JAみやざき宮崎中央地区本部、宮崎県中部農業改良普及センター、宮崎県総合農業試験場

品目

きゅうり

成果目標

化石燃料（A重油等）使用量を100％低減する。

主な取組内容

○省エネ技術を先進地に実施している産地への視察、営農モデル確立に向けた検討会を開催
○きゅうり栽培における高保温性カーテン、電熱線による培地加温技術体系の検証
○きゅうり栽培における営農モデル確立に向けたマニュアル作成、生育評価、環境影響評価を実施

営農モデル確立に向けた検討会の様子

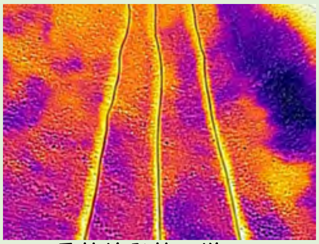
高保温性カーテン

超高保温性カーテン

被覆資材の比較

電熱線の設置

電熱線設置の様子


電熱線発熱の様子
サーモグラフィー

普及に向けた取組

きゅうり栽培における高保温性カーテン、電熱線による培地加温技術体系の検証を行い、生育評価、環境影響評価を実施し、営農モデル確立に向けたマニュアルを作成する。また、作成したマニュアルを活用しつつ、導入を希望している生産者等に対する助言、指導等を行う。

問い合わせ先
宮崎市SDGｓ対応型施設園芸推進協議会事務局（宮崎市農政企画課）
TEL:：0985-21-1785